

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1039	文化財保存経費	会計	01	一般会計	
		款	10	教育費	
36	歴史や文化を守り未来へ引き継ぐ	項	05	社会教育費	
		目	02	文化財保護費	
		細目	101	文化財保存経費	
		細々目	01	文化財保存経費	
担当部課名	教育委員会島ヶ原分室				
作成者氏名	川口正仁	連絡先	(59)2058		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	市指定無形民俗文化財「太鼓踊り」の保存と伝承している保存会	貴重な文化財を適切に保存・伝承することにより、守る人観る人が地域の歴史や文化を学び市民一人ひとりが、次世代に誇りをもって引き継ぐ自覚が生まれる。					
本年度事業内容	○伊賀国荒獅子太鼓保存会:毎週土曜日の「太鼓踊り」等の練習や定例の子ども太鼓教室の開催及び上野城太鼓フェスティバル、しまがはら夏まつり等への参加 会員数:12名						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市文化財保護条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01
人件費合計(A)	72	72	72
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	200	180	180
委託料			
補助金	200	180	180
その他			
合計(A+B)	272	252	252
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	272	252	252
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
保存会活動回数	回	58	57	57			
太鼓練習等参加延べ人数	人	290	410	478			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
会員参加率 (参加延べ人数/参加該当者総数)	会員該当者総数を分母とし、参加延べ人数を分子とする。	%	41 目標 (100)	60	70
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

太鼓踊りを指導する古老がいないため、保存伝承のための日々の練習に支障がおきている。太鼓踊りの曲目は44曲あるが現在はほとんど練習がおこなわれていない。練習のほとんどは創作太鼓である。この実態をふまえ、保存会に「太鼓踊り」復活に向けて練習に取り組むよう指導を強化する。

評価	必要性	4	太鼓踊り保存に向けての取り組みが低調である。今後の保存会の取り組みを見た中で総合判断をする。	総合評価
	有効性	2		C
	達成度	2		
	効率性	4		